

新生鳥取環境大学の魅力づくりのための新たな方策（検討項目）

新生公立鳥取環境大学設立協議会事務局

◆出口（就職）関係

○就職に有利な資格取得の支援

- ・公務員試験、レンジャー試験対策や公認会計士、通関士、貿易実務検定、エコ検定等の就職に有利な資格の合格支援体制（学内ダブルスクール）を構築
- ・旅行業関係資格、保険関係資格（フィナンシャルプランナー等）や HACCP 等の実務講座など特定分野の企業において就職後に取得が必要となる資格等について、在学中の取得支援を実施
- ・鳥取環境大学独自の認定資格「鳥取環境士」の取得コースを展開し、環境マネジメントのプロを養成
（東海大学で類似例あり）

○就職支援

- ・商工会議所・商工会などの経済団体、県の県外本部と連携を強化し、就職支援を充実させる。
- ・卒業生、地元産業界のキーマンをサポートに任命するキャリアサポーター制度を導入
キャリアサポーターを活用し、業界や仕事の理解、就業体験につなげる。（横浜市大で実践例あり）

○インターンシップ

- ・インターンシップ（職場体験）を必修とする。
地元企業のニーズを踏まえたキャリアデザイン科目との連携

◆社会人教育関係

- ・社会人を対象とした企業経営講座など、大学の専門性を地域に還元する公開講座の充実
例：西部地区での国際経済講座開催など

◆地域連携の強化

○地域連携の核づくり

- ・とっとり地域連携・総合研究センターと一元化することにより、地域連携・研究活動を行う附置機関を新設し、教員、学生の地域における活動を活性化させるとともに、地域づくりの人材育成など地域貢献を推進
- ・市街地の空き店舗、中山間地域の空き家等に学生の地域活動の拠点となるスペースを確保し、地域の皆さんと協力しながら地域づくりを実践する。特に、西部地区においてはサテライトスペースを確保し、学生活動の拠点のみならず、西部地区における大学の情報発信、地域連携の中心とする。

○学生ボランティア活動の推進

- ・コミュニティ・コラボレーションセンターを設置し、学生の自主的な活動をサポート。多種多様なボランティア情報を紹介する。
(愛知淑徳大学で類似例あり)

○地域のプロスポーツ団体（ガイナレ鳥取）との連携

- ・ガイナレ鳥取と連携し、スポーツマネジメント講座を開講。公式戦のイベント企画、観客増のための競技場でのマーケティング等を学生で実施するなど、スポーツビジネスを実体験する。
(産業能率大学で類似例あり)
- ・「スポーツ実技」科目へのガイナレ鳥取からの講師派遣

◆企業との連携

- ・大学内に企業の研究室を誘致し、教育・研究内容の充実を図る。

◆教育機関との連携

○大学間交流

- ・県内の他大学、環境・経営系の他大学との単位互換など教育・研究交流を推進

例：鳥取大学の教員養成科目、環境系の農学・工学科目等と環境大学の経営系科目、環境マネジメント・社会学系科目との単位互換

○県内高等学校との連携

- ・県内高校との連携を一層推進するため、連携協議の場を設定

◆海外の大学との交流を推進

○自治体間交流をベースとした大学間交流の拡大

- ・大学間での留学生、教員の相互派遣の実施

ウラジオストク国際経済サービス大学、清州大学、江原道立大学など

○留学の支援

- ・留学アドバザーを学生の専門分野や留学先地域により配置し、留学前・留学中の相談に応じ、履修指導などを実施

(国際教養大学に類似例あり)

◆基礎教育の充実

- ・高等学校退職教員の協力を得て、入試合格者を対象に入学前教育を実施

(県立広島大学に実践例あり)

◆その他

- ・マスコミに積極的に情報提供し、パブリシティを活用した広報を実践

(松本大学の場合：2日に1度程度は記者資料提供)